

はじめに

情報メディアセンター長 蔣 湧

情報メディアセンター紀要COMの第34号をお届けします。今回も多くの方々のご協力をいただき、研究論文をはじめ、「第7期教育研究情報システム」の特集やLMSを利用した情報教育の実践など、数多く投稿して頂きました。

2008年4月、第7期教育研究情報システムが正式に稼働しました。最新の情報教育環境と2007年度から実施している新しい情報教育カリキュラムに合わせ、本校の情報教育は、従来の情報リテラシ教育に限らず、情報科学の分野において、より細かな教育活動を展開するようになりました。例えば、Webデザイン、マルチメディア演習、ネットワークとセキュリティ、モデル化とデータベース、プログラミングなどの科目では、真の情報科学を理解し、処理技術を習得した上、課題発見や問題解決、つまり情報を扱える能力の育成に教育目標を設定しています。今回の「ソフトウェア・ショートレビュー」特集は、こうした情報教育の第1線で活躍する教員方々の投稿をまとめ、講義中使用しているソフトウェアについて紹介し、先進的な情報環境を利用した情報教育の取り組みがうかがえます。

一方、情報メディアセンターが整備したLMS (Learning Management System) が年度内に稼働することになりました。それを利用した教員のe-Learningコンテンツ作成を支援するために、ICT委員会、専門業者と学生サポータを含む「三位一体」の支援体制を検討しています。こうした教育研究の環境を積極的に利用し、その成果を本誌に投稿いただくことを期待し、今後のご協力をお願いいたします。

第7期教育研究情報システム特集号

今号は、実習室に導入しているソフトウェアの紹介を兼ねた利用報告、ネットワークシステム紹介、システム利用マニュアルなどの特集号です。